

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		河川・調整池維持管理事業		担当課	建設課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間	昭和57年度～
	施策	防災対策の推進		種別	任意の事務
	基本事業	施策の総合推進		市民協働	
予算科目コード		01-080301-02 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
開発等により増大する雨水流量を調整することで、下流域での洪水による影響を防止する。	調整池の機能を維持するため、汚泥清掃及び除草を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
調整池の維持管理を適切に行い、調整池機能を維持するとともに、周辺環境の保全を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☐削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
限られた除草回数であるので、効率的に実施していく必要がある。	雑草等の繁茂状況により除草の時期を調整し効率的に実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
除草回数（回）	9.00	14.00	16.00	16.00	16.00
述べ除草面積（㎡）	138,240.00	179,930.00	188,710.00	188,710.00	188,710.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	調整池機能は確保されている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	除草については、限られた除草回数で効率的に実施していく。また、調整機能を保全するため計画的に土砂清掃を実施していく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	38,934	39,116	29,696	42,305	42,305
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,366	1,209	2,063	6,277	6,277
	一般財源	37,568	37,907	27,633	36,028	36,028
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	195.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	800	0	0
トータルコスト		38,934	39,116	30,496	42,305	42,305